

テーマ
大学のグッズを考えて、企画書を書こう！
目標
学習レベル 4 ○ 大学のグッズについて調べて、ほかとの違いについて気づくことができる。 ○ 企画書はどんなものかを知り、根拠のある企画書を書くことができる。 ○ 企画書に基づいて、発表することができる。
コミュニケーション能力指標
【話題分野】なし 職業？
学習シナリオ
<p>&lt;場面状況&gt;</p> <p>K 大学国際学部では第 1 外国語として日本語の授業を週に 4 回行っている。各クラス3～8名在籍しており、このクラスは、アジア、アフリカから来日した6名で構成されている。このクラスは聴解・会話の上級クラスとして行っている。今回は大学のグッズを考えて、企画書を書くことにした。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt;</p> <p>第 1 回は、学生は K 大学の生協へ行き、どんなグッズが売っているか調べた。それを踏まえて、自分ならどんなグッズが欲しいかを考えた。次週までに大学のグッズとほしいグッズについて、スライドを作ることを宿題。</p> <p>第 2 回は、K 大学のグッズと自分がほしいグッズについて発表した。</p> <p>第 3・4回は、ものを紹介するとき、分かりやすい表現について学んだ。それから、身近にあるものについてそれぞれ発表を行った。その間、他大学のグッズについて調べることが宿題</p> <p>第 5・6回は、企業の企画書を読み、企画書にはどんな事項を書くべきかを話し合った。</p> <p>第 7回は、他大学のグッズについて発表を行った。</p> <p>第 8回は、自分が企画したグッズについて、根拠を示すために、アンケートやインタビューを行うことにしたが、どのようなアンケートやインタビューを行うかディスカッションを行った。</p> <p>第 9・10 回は、グラフについて発表するときの表現について学んだ。その後、グラフを1つ選んで、発表する練習を行った。アンケートやインタビューを実施することが宿題。</p> <p>第 11 回は、自分が考えた企画書についてクラスメートと話し合った。</p> <p>第 12 回は、自分が考えたグッズについて、自分が行ったアンケート結果も含めて発表を行った。</p> <p>第 13 回は、教師は学生にフィードバックを行った。</p>
総括的評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企画書</li> <li>• 企画書についての発表</li> </ul>

### 3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学のグッズに関する語彙がわかる</li> <li>企画書に関する語彙がわかる</li> <li>グラフに関する語彙がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の大学にどんなグッズが売っているか知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売れる商品について客観的な根拠を説明する方法について理解する。</li> </ul>
できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>他企業の企画書を読むことができる。</li> <li>大学のグッズについてわかりやすくまとめて発表することができる。</li> <li>グラフを使って発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他大学で売っているグッズと比べて、何が違うか分析することができる。</li> <li>どんなグッズが売れるか企画することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスメートと協力してスライドを作ることができる。</li> <li>読み手のことを考えて説得力がある企画書を書くことができる。</li> <li>自分が行ったアンケートやインタビューからどんな商品がいいか分析することができる。</li> </ul>
つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>他大学の学生とグッズについてインタビューをする。</li> <li>購入層を対象にインタビューもしくはアンケートをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューやアンケートの協力者に不快な思いをさせないように気を付けて行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスメートとインタビューやアンケート内容についてディスカッションをする。</li> <li>クラスメートと説得力がある企画書についてディスカッションする。</li> <li>企画書を生協の店員さんに渡し、コメントをもらう。</li> </ul>
三連携	連携1：自分が関心のある商品について取り上げるので、学習者は興味を持つ 連携2： 連携3：生協の店員さんにつながる		

テーマ：企画書について

指示文：日本語で関学のグッズについて企画書を書いてください。

- アンケートやインタビューを行って、説得力のある企画書を出してください。
- 12月19日に一度企画書を提出してください。

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
デザイン	フォントもそろっていて、写真や絵もあって長々と説明としておらず、わかりやすい	フォントも大体そろっていて、写真や絵もあって長々と説明としているが、わかりやすい	フォントがそろっておらず、長く説明してわかりにくい、写真や絵はある	フォントがそろっておらず、説明がわかりにくく、写真や絵もない
内容	企画書のある内容がすべて書かれていた	企画書のある内容が大体書かれていた。	企画書のある内容が半分書かれていた	企画書のある内容が少ししか書かれていない
正確さ	企画書に書かれている日本語が文法も語彙も正確でとてもわかりやすい	企画書に書かれている日本語が文法も語彙も大体正確でわかりやすい	企画書に書かれている日本語が文法も語彙も少し間違えがあってわかりにくい	企画書に書かれている日本語が文法も語彙も間違えが多くて、読みにくい
説得力があるもの ×3	アンケートやインタビューを行って、その結果が反映され、なるほど！と説得力があるものになっている	アンケートやインタビューを行って、その結果が少し反映され、説得力があるものになっている	アンケートやインタビューを行っているが、結果があまり反映されていない	アンケートやインタビューを行っていない
おもしろくてユニークなアイデア	今売っている関学のグッズと違うということがよくわかり、おもしろい	今売っているグッズに似ているものもあるが、おもしろい	今売っている関学のグッズと違うが、それほどおもしろくない	今売っている関学グッズと何も変わらず、おもしろくない

### 目標分解表

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	
大学の生協へ行って、どんなグッズが売っているかを見て、どんなものが多いか分析する。	大学で売っているグッズを知ることができる。	大学で売る、ユニークなグッズは何か選び出すことができる。	大学で売り出したらいいグッズを考えて、企画書を書こう！プレゼンをしよう！	
【形式的評価】 グッズに関する語彙のテスト				
クラスメートと協力して、スライドを作る。				
どんなグッズが売っているかを見て、自分ならどんなグッズがほしいかを考えて、発表する。	【形式的評価】 大学で売っているグッズ、自分がほしいグッズについて発表する			
他大学の学生とコンタクトをとる、または自分で他大学に行って、グッズについて、どんなものがいくらぐらいで売っているか分析する	他大学で売っているグッズを知って、自分の大学のグッズとの違いを知ることができる。			
他大学のグッズについてまとめてスライドを作る	【形式的評価】 他大学で売っているグッズについて、自分の大学のグッズと比較して発表する			
グッズの購入者を考えて、アンケートもしくはインタビュー項目を考える。	どんなグッズがユニークで売れるかについて客観的な根拠を引き出すことができる。			
購入層を対象にアンケートかインタビューを行って分析する。	【形式的評価】 アンケートもしくはインタビュー結果について発表する。			
他企業の企画書を読んで、どんな内容を書くかを理解する。	企画書の内容について知ることができる。			企画書を書いて、プレゼンすることができる。
どんな内容を書くかクラスメートとディスカッションをする。				
【形式的評価】 企画書に関する語彙のテスト	企画書を書くことができる。			
自分が欲しいグッズの企画書を書く	わかりやすく発表することができる。			
グラフを使う表現について知る。				
【形式的評価】 簡単なグラフについて発表する。				
企画書に基づいて発表スライドを作る	【総括的評価】 自分がほしい商品について発表する。企画書を提出する。			